

# 新型コロナウイルスとインフルエンザ

## ～ 冬の感染拡大に備えて ～

---



株式会社ドクタートラスト

産業保健師 原田 / 精神保健福祉士・看護師 笹井



冬は感染症の流行する時期



# なぜ冬に感染症が流行しやすいのか？

## ① 人間の免疫力の低下

乾燥



喉や鼻の粘膜が弱る



ウイルスが体内に侵入しやすくなる

寒さ



体温が下がる



免疫力が下がり感染しやすくなる

## ② ウィルスにとって最適な環境

低温・低湿度・密閉した環境  
(温度 16℃以下 / 湿度 40%以下)

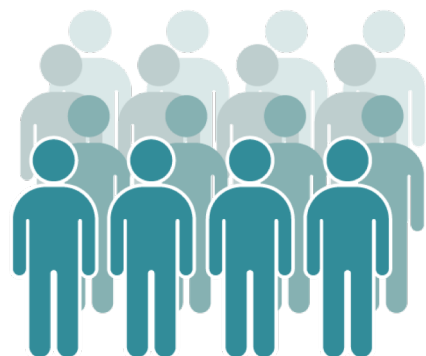


ウイルスが長く生存する



# インフルエンザ患者の報告数 (約1週間)

**昨年**  
10月28日～  
11月3日



4,682人



減少の要因

感染対策



輸入インフル  
がない



**今年**  
10月26日～  
11月1日



32人



出典：国立感染症研究所

# 新型コロナウイルスとインフルエンザの違い

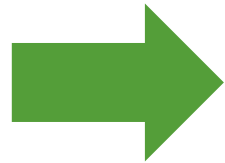
|            | 新型コロナウイルス                        | インフルエンザ                             |
|------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 症状の有無      | 発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある         | ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する |
| 潜伏期間       | 1~14日（平均 5.6日）                   | 1-2日                                |
| 無症状感染      | 数%~60%<br>無症状患者でもウイルス量は多く、感染力が強い | 10%<br>無症状患者では、ウイルス量は少ない            |
| ウイルス排出のピーク | 発病日                              | 発病後2、3日後                            |
| 重症度        | 重症になりうる                          | 多くは軽症~中等症                           |
| 致死率        | 3-4%                             | 0.1%以下                              |
| ワクチン       | 開発中であるものの、現時点では有効なワクチンは存在しない     | 使用可能だが季節毎に有効性は異なる                   |
| 治療         | 臨床治験中                            | 治療に有効な複数の薬剤あり                       |

一般社団法人日本感染症学会提言 今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて（日本感染症学会）

# 風邪や発熱の症状があるときの相談窓口

2020年11月12日現在

発熱等の症状



まずは…

最寄りの診療所、  
かかりつけ医に  
電話相談



どこに相談したらいいかわからない場合

受診・相談センターに電話相談  
(旧帰国者・接触者相談センター)

※各都道府県にあり



🔍 詳しくは「受診・相談センター」で検索

# インフルエンザのワクチン接種を推奨

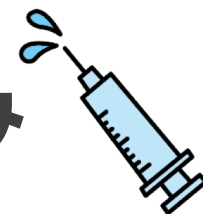


焦らなくて大丈夫！

- ✓ 高齢者
- ✓ 重い持病がある人
- ✓ 基礎疾患がある人
- ✓ 医療従事者
- ✓ 妊婦
- ✓ 生後6か月～

上記含め、すべての人に接種を強く推奨

ワクチン開始以来 **最多！ 6,356万回分** 供給見込み



# 引き続き徹底した感染予防対策 で冬を乗り切りましょう

